

強いぞ！日本一社会情報学の視点から 東日本大震災からの復旧・復興を考える一

日 時 : 2012 年 1 月 31 日 (火) 13 時 00 分 - 16 時 50 分
会 場 : 文京シビックセンター (26 階) スカイホール (最寄駅 都営地下鉄 春日, 東京メトロ 後楽園)
主 催 : 横幹技術協議会、横幹連合
参 加 費 : 横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は参加無料。
当日資料代 : 1,000 円 (希望者のみ)

【上記以外】一般 5,000 円 (資料代込)

参加申込 : 【事前登録】オンライン申込 (http://www.trasti.jp/forum/forum33_kyg.html)

【企画趣旨】

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、未曾有の被害をもたらしたが、現在、大震災からの復旧・復興に向けて歩みだしている。このように甚大な被害の規模は未体験ではあるものの、これまでの日本が経験してきた災害を振り返ると、力強く復活してきているのである。本技術フォーラムでは、社会情報学的観点から大震災からの復旧・復興における様々な課題について学ぶとともに、これからの取組みについて議論する。

【プログラム】

		(敬称略)
		総合司会: 櫻井 成一郎 (明治学院大学 教授)
13:00-13:10	開会にあたって	桑原 洋 (横幹技術協議会 会長)
13:10-14:10	◆ 講演 1 東日本大震災からの復旧・復興における法的諸問題	戎 正晴 (明治学院大学 教授 / 弁護士)
14:10-15:10	◆ 講演 2 東日本大震災におけるボランティア実践	柴田 邦臣 (大妻女子大学 准教授)
(15:10-15:20	休憩)	
15:20-16:20	◆ 講演 3 日本の災害復旧・復興における強さと課題	遠藤 薫 (学習院大学 教授)
16:20-16:40	◆ 総合討論	司会 : 櫻井 成一郎 講師の皆様
16:40-16:50	閉会にあたって	出口 光一郎 (横幹連合 会長)

強いぞ！日本—社会情報学の視点から 東日本大震災からの復旧・復興を考える—

2012 年 1 月 31 日（火）13 時 00 分—16 時 50 分

【 講 演 要 旨 】

講演 1

「東日本大震災からの復旧・復興における法的諸問題」

◆ 戒 正 晴（明治学院大学 教授／弁護士）

東日本大震災からの復旧・復興は、法律の諸問題を解決しない限り、一朝一夕には実現できない。たとえば、瓦礫の処分に際しても、所有者の許可なく、自治体が勝手に処分することはできないのである。本講演では、阪神・淡路大震災における経験を踏まえて、このような法律の諸問題について明らかにする。

講演 2

「東日本大震災におけるボランティア実践」

◆ 柴田 邦臣（大妻女子大学 准教授）

東日本大震災は、情報社会にとってもはじめて経験する危機であった。高度に接続されていたはずの東京と被災地は、あっさりと分断された。そこからの復興は、まさに情報社会の社会的意味を問う試みであるといってもよい。この報告は、「情報技術で何ができるか」を合言葉にした日本社会情報学会・災害情報支援チームの活動を、被災写真救済プロジェクト「思い出サルベージアルバム・オンライン」を中心に取り上げる。

講演 3

「日本の災害復旧・復興における強さと課題」

◆ 遠藤 薫（学習院大学 教授）

日本は世界でも有数の地震・津波災害多発地帯である。日本固有といわれる無常観も、そうした自然環境に培われたのかもしれない。それはネガティブな諦念のように聞こえる。しかし必ずしもそうではない。伝説の都市トロイやポンペイは自然の猛威によって滅びた。だが日本社会は、幾多の想像を絶する災禍に見舞われつつも、長い時を越えて生き延びてきた。災害史を踏まえ、日本社会のしたたかさを分析し、再認識するとともに、現代の課題を考える。

<第33回横幹技術フォーラム 申込書>

1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

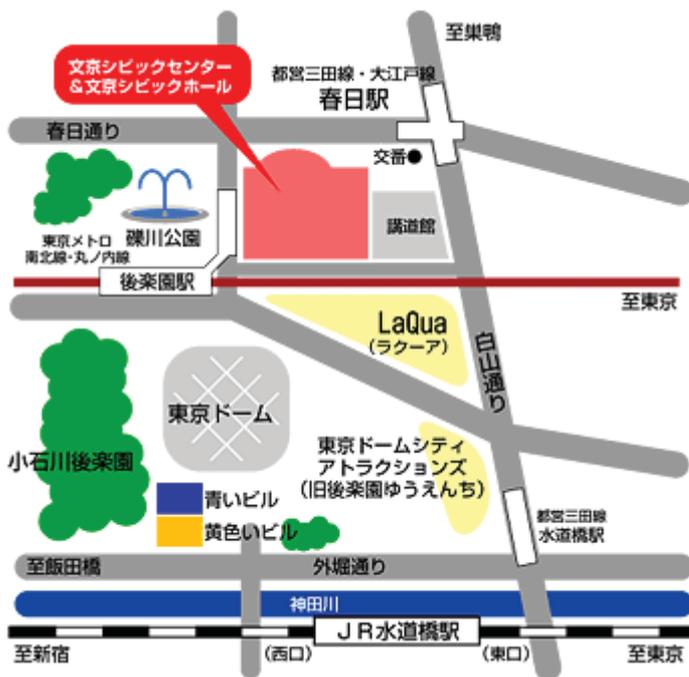
3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加費区分：※該当するものに○印をつけてください。

(a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)

(c) 学生 (d) その他

交通案内



文京シビックセンター所在地: 〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-21

シビックホール26階 スカイホール

問い合わせ: 03-5803-1100 (財)文京アカデミー施設管理係